

県立世界遺産センター開設5周年シンポジウム 「日本生糸の世界生糸市場への参入はなぜ成功したのか」

県立世界遺産センターは、令和2年6月の開設から本年で5周年を迎えました。これを記念し、幕末の開港以降、日本の生糸がどのように世界に受け入れられていったのかをテーマに、外部講師を招いてシンポジウムを開催いたします。

1. 日時・場所

開催日時: 令和7年12月13日(土) 13時00分～16時30分(受付開始: 12時30分)
会場: 富岡製糸場西置繭所(富岡市富岡1-1)

2. 定員・費用

先着100名(事前申込制)・無料 ※富岡製糸場も無料で見学できます。

3. プログラム

講演1 「群馬の生糸が国際市場へ」 西川武臣 氏 (横浜開港資料館館長)
講演2 「生糸直輸出の試みとその意義」 佐藤 有 (県立世界遺産センター研究員)
シンポジウム コーディネーター 石井寛治 氏 (東京大学名誉教授)
登壇者 西川武臣 氏 (横浜開港資料館館長)
佐藤 有 (県立世界遺産センター研究員)

4. 主催

県立世界遺産センター、富岡市

5. 申込方法

①、②いずれかの方法で、12月10日(水)までにお申し込みください。

① お申込みフォーム

<https://logoform.jp/f/91Ezk>



(お申込みフォーム二次元コード)

② Eメール

氏名、電話番号、参加人数を明記して下記のアドレスへお申込みください。

sekaiisan@pref.gunma.lg.jp

※ 詳細はチラシをご覧ください。

※ 定員に達し次第、受け付けを終了させていただきます。